

ガンリョクマット5A型施工事例④（植生不良対策）

当初設計は市場単価の植生マット工となっていたが、現地はマサ土で硬度が高く植生不良になるとすぐに砂質化して表面浸食が起きてしまうため、法面調査を実施しガンリョクマットを提案。施工当初よりガンリョクマットによる地山の保護機能と生育基盤の安定性能で7か月経過後には全面緑化による表面浸食防止が図られている。



施工前



施工完了：H28年12月



植生完了：H28年7月

発注者：長野県飯田市役所
工事名：道路改良工事（飯田市法善寺上地内）
工法名：ガンリョクマット5A型
施工時期：H28年12月